

■会議録

会 議	第1回山陽小野田市子ども読書活動推進計画（第四次計画）検討委員会
開催日時	令和4年10月7日(金) 午後2時から4時15分まで
開催場所	山陽小野田市立中央図書館2階 視聴覚ホール
出席者	山陽小野田市子ども読書活動推進計画検討委員会委員9名 安光裕子委員、福重和代委員、廣重順子委員、長尾誠治委員、 東原秀一委員、棟久光江委員、松枝志保子委員、植田眞理子委員（以上、来館） 細井徹委員（以上、リモート） 事務局7名 藤山教育部長、船林社会教育課長 山本図書館長、増富中央副館長、岡原厚狭副館長、銭谷主査、荒井主任
欠席者	なし
配付資料	次第、議事資料等
担当課	教育委員会 社会教育課 中央・厚狭図書館
会議内容及び結果	<p>1. 開会</p> <p>2. 教育部長あいさつ</p> <p>3. 委員、事務局職員自己紹介</p> <p>4. 議題（委員長が議事進行）</p> <p>（1）第三次計画期間における取組状況について</p> <p>a. 「第三次計画期間における具体的取組一覧」実施状況</p> <p>b. 第三次計画期間における新たな取組</p> <p>（2）資料集について</p> <p>（3）第三次計画期間における諸情勢の変化</p> <p>（4）第四次計画第一次素案について</p> <p>館長による資料説明。以下は各委員の主な発言。</p> <p>委員：スマートフォン等の電子媒体だけでなく紙媒体の重要性の理解促進を基本方針に記載していることは賛成する。</p> <p>委員長：図書館と学校図書館の蔵書データベースの一元化の時期はいつか？</p> <p>館長：今年度末までに完了予定である。</p> <p>委員長：配本システムの予算はどうなるのか？</p> <p>館長：利用状況を見ながら徐々に整備していく。</p> <p>委員：対面での読書活動は大切であるが子どもを巻き込みながらの活動が大切だと思う。</p> <p>館長：対面という言葉は一方的に聞こえるかもしれないが意味合いは双方向である。</p> <p>委員長：科学を柱にした子ども読書活動推進は市内に理科大がある強みを活かして大学との連携による市特有の取組で面白い。</p>

学校図書館を地域に開放するのは理想的だが難しいのではないか。

館長：学校図書館の持っている資源を地域の方々が利用することができるよう可能な学校から導入していくことになるのでは。そのためには様々な課題がある。

委員：配本のシステムは具体的にどのようなものをイメージしているか？

館長：利用増加に対応したシステムを学校教育課と協力して計画的に整備することになると思う。

委員：ニーズを活用し市民に貸出方法やシステムをいかに周知できるかが課題である。

本に親しむ機会を作り地域と学校が一体となり交流できる体制ができればよい。

委員：乳幼児が絵本と出会うには保護者の協力が不可欠である。資料集の幼稚園・保育園アンケート結果は各園に配布するのか？

館長：後日配布する。

委員：園で読書の啓発活動をしているが予算に限りがあるので団体貸出を積極的に活用したい。新しい取組として関係者による情報交換会を実施してほしい。

委員：保護者向けの講演会や先生向けの講座も開催してほしい。子どもは科学に興味があるので年長向けの出前講座を開催してほしい。

委員：図書館には読み物以外の絵本で科学や歴史の本、資料関係がどれくらいあるか。また、自閉症やADHD、ダウン症、情緒障がい等のある子どもに対するサポートがあればよい。

館長：情報交換会等は前向きに検討したい。図書館の科学分野の絵本の蔵書数はすぐ分からないが、「ちっちゃなかながくのおはなし会」で使用している絵本をリスト化したい。障がいのある子どもに対する図書館資料としての実践事例は少ないが取組を進めていかないといけない。

委員：県立では関係団体から情報を得たり支援学校で団体貸出や手話等での読み聞かせをしている。オンラインの情報交換会はニーズも増えているが著作権上使用できないこともある。オンラインに不慣れな方の対応や図書館の環境整備も必要である。

委員：以前は学校図書館に学校司書が常駐していたが、今は毎日いない時もあるようなので長く配置していただきたい。

館長：今は2校兼務となっている。

委員：日本の科学力低下を懸念しており科学分野への取組は大切であると思う。「サイエンス・カフェ」により本の貸出に繋げて子どもに科学に興味を持ってもらうことに今後も協力したい。理科大と連携した行事のうち、コロナ禍により未継続の行事はボランティア活動等で学生を募り可能であれば学生主体で活動していきたい。

5. 今後の日程について

本日出された意見を事務局で精査して第一次素案の修正案を作成する。大幅な修正はないので第2回検討委員会は書面で開催したいと考えている。

6. 閉会

